

令和6年度 課題研究における県西地域の企業等との連携（企業連携バンク）

本校ではSSH事業の一環として、地元企業と本校生徒との共同研究を通して、県西地域にプラスの効果をもたらす社会的意義のある探究につなげるため、小田原市役所企画政策課、産業政策課を通じた「企業連携バンク」を構築しています。具体的には、生徒主体で行う課題研究の中で、生徒がアドバイスを仰ぎたい企業・団体を選択できる“連携バンク”を構築し、生徒主体の課題研究をより深化させています。

昨年度は、課題研究において生徒が選択した人数が多かった「生活科学」領域との連携を中心に考え、花王株式会社小田原事業場に連携協力を求めました。

今年度は、花王株式会社小田原事業場に加えて、「物理」領域や「人文科学」領域との連携を考え、株式会社鈴廣蒲鉾本店に連携協力を求めました。

9月24日（火）に、「人文科学」領域の1グループが、株式会社鈴廣蒲鉾本店に訪問させていただき、「消費者の消費選択とより有効な商品の売り方とは」のテーマのもと、マーケティングについて指導・助言をしていただきました。

9月26日（木）に、花王株式会社小田原事業場の研究員さんに来校していただき、花粉と衣服をテーマとする「物質化学」領域の1グループと、香水や日焼け止めをテーマとする「生活科学」領域の2グループへ指導・助言をしていただきました。

専門家の視点から生徒の探究活動が深まるような指導・助言をしていただいたことで、生徒たちの課題研究の一層の深化が進んだように思います。感謝の気持ちでいっぱいです。生徒は、指導・助言を受け、先行研究をもう一度確認し、現在課題研究に精力的に取り組んでいます。

